



# 安行小だより

安行小学校 11月号  
令和5年11月1日

目指す学校像

よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校（個の伸長 公の育成）

～伝統と地域と共に励みて進む安行小150年～

## 心も広く 朗らかに

校長 春川 嘉孝



6月に植えた苗は、大きく成長し、刈り取りの時期を迎えました。安行小の至るところに、束ねた稲が稲架（はさ）に掛けられ天日干しされています。ではなぜ、稲を干すのでしょうか？ 稲は刈られたあともまだ成長を続けようとしています。日光や風にあてられ、乾燥するなかで、稲は、藁の栄養を最後まで、実に託すのだそうです。安行の地に自然の田を見る機会が減り、このような情景を目にすることは少なくなりました。また、乾燥機を使って早く乾かす方法も今ではあるでしょう。それでも、自分の力で苗を植え、自分の力で刈り、乾燥させ

脱穀して、初めて食べられる「ごはん」。この光景も、安行小ならではの光景だろうか。

保護者、地域の皆様のお力を賜りながら一年一年積み重ね、今年150年を迎えます。単に時間が経過したわけではなく、皆様と共に守り、育ててきた学校。「教育の大切さ」を強く思い拓いた学校。昔の風景を思い浮かべながら「昔と今」そして「未来」をお子さんと一緒に話していただけると幸いです。

### 開校150周年記念音楽会(令和5年度) プログラム



令和5年10月14日(土)

会場 川口市立安行小学校 体育館

10月13、14日に開催した「校内音楽会」。13日は児童のみの発表会。当初は2部制として他学年の発表を聞いて、より音楽の楽しさに触れられるよう考えていましたが、インフルエンザの感染予防として、急遽、オンラインでの発表会になりました。無観客の発表会は、子供たちにとって物足りなさを感じたと思いますが、その分、練習の成果を自分の中で確認しながら発表できたのではと思います。14日(土)開校150周年記念校内音楽会は多くの保護、地域の皆様のご参加をいただき、成功に終わることができました。子供たちにとっては、皆様の前で発表する緊張感も、前日とはくらべものにならないくらいのものであった

と思います。公開の音楽会は3部制。各部総入れ替えをとりました。保護者の皆様には、お子さんを近くで見たいという思いもあったと思います。そして、体育館の中で、お子さんの発表する姿をしっかりと見ている様子。子供たちの「聞かせたい」「見てもらいたい」という思いと、保護者の皆様の「我が子の頑張りを見たい」「聞きたい」という思いが、まさに「響き合い」、素晴らしい音楽会になったのだと思います。「開校150周年記念音楽会」は、何か、会場に「ゆとり」があり、とても「豊かな」音楽会になったと感じます。ありがとうございます。

縁あって、国際協力、国際理解に関係する研修会や展示会に参加することが多い私ですが、その会場に足を運ぶと、何かとても自信をもった、ゆとりをもった方々と接します。先日開かれた「セミナー」では、自分自身を知ること（強みも弱みも）が、他者の立場も気持ちを受け入れられるといった内容のセッションに参加しました。その中で、今より広く、大きく社会を見ることの大切さを「目の前に伸ばした両手の人差し指を徐々に広げることで、どこまで見えるか」といったことを実感を伴って感じました。狭くみるのではなく、大きく、広く社会も他者もみていくことで、よりよい社会を築くことができる。そんな第一人者に、安行小の子供たちを育てたいと思います。

プログラム		
1 開会の言葉	2 各学年の演奏発表	3 閉会の言葉
2 開校宣言	4 閉会の言葉	
【第1部】		
3年生 (斉唱)	「いつだって！」	
	(リコーダー奏)	「あの雲のように」
1年生 (斉奏)	「こいぬのマーチ」	
なかいし学級 (斉唱)	「新しい空に飛ぶかご」	
	(斉奏)	「ハイパー」
【第2部】		
2年生 (合唱)	「小さな世界」	
	(合唱)	「虹のちびん」
5年生 (合唱)	「変わらないもの」	
	(合唱)	「キリマンジャロ」
【第3部】		
4年生 (合唱)	「希望に深呼吸」	
	(合唱)	「茶色のちびん」
6年生 (合唱)	「朝日の空へ」	
	(合唱)	「アフリカンシフォン」

